## 2022年3月期決算補足資料

2022年5月12日



**タイワホ"ウホールディンク"ス**株式会社

(証券コード:3107)

### 連結決算ハイライト



## **2022年3月期**(2021年4月1日~2022年3月31日)

# 世界的な供給不足の影響により期初計画を下回るも需要反動減の環境で過去3番目の利益水準を確保

#### ITインフラ流通事業

企業・官公庁向けはテレワークと対面を柔軟に組み合わせた地域密着営業により、販売の強化推進と増加するクラウド環境構築やサービスへの需要獲得に注力することで回復傾向が見られたものの、文教市場における反動減および半導体不足の影響を受け減収減益

コンシューマ向け市場はテレワークが活性化した前期と比較して、PC・ 周辺機器を中心に販売が減少

#### 繊維事業

環境負荷の少ないレーヨンは販売が増加したものの、除菌関連需要の反動や事業全般で原燃料高の影響を受けたことで利益面で苦戦

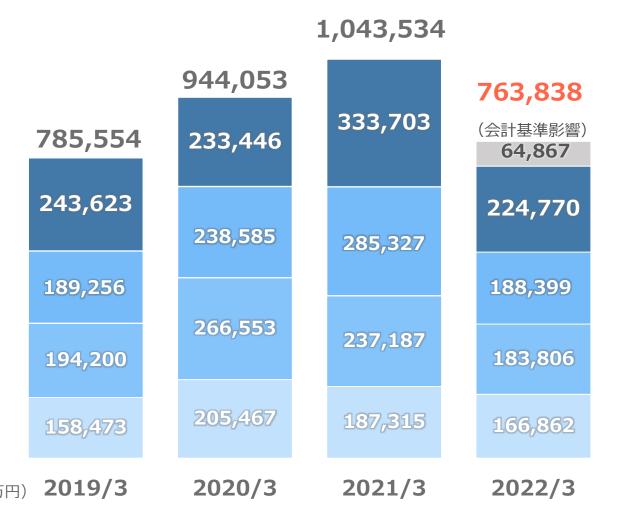
#### 産業機械事業

原材料高騰の懸念は継続しているが、受注環境は回復傾向にあり、改造・部品交換などのサービス売上も増加

## 2022年3月期 売上高







## 売上高 **763,838**百万円

- ▶新基準比較 △**21.6**%
- ▶収益認識基準の影響額 64,867百万円

取扱高 **828,706**百万円 前年同期比 △**20.6**% (従来基準比較)

※「収益認識に関する会計基準」の適用についてはP4に記載しています。

## 2022年3月期 営業利益





営業利益 **24,059**百万円 前年同期比 △**31.3**%

営業利益率 3.1%

過去3番目の営業利益

## 収益認識に関する会計基準の適用について



#### 2022年3月期より企業会計基準第29号「**収益認識に関する会計基準**」を適用 ITインフラ流通事業の一部取引について売上高の計上方法を変更

(百万円)		2021/3	2022/3	増減
	①旧基準	1,043,534	828,706	△214,828 △20.6%
売上高	②新基準	_	763,838	
	2-1	_	△64,867	
営業	利益	35,028	24,059	△10,968 △31.3%
営業	①旧基準	3.4%	2.9%	
利益率	②新基準		3.1%	

#### く主な変更点>

#### ■代理人取引に係る収益認識

ITインフラ流通事業における保守・保証サービス、ソフトウェア(継続課金等)販売などの取引の一部について、販売先への商品・サービスの提供における当社の役割が、会計基準上の「代理人」に該当するため収益認識の方法を変更

【旧基準】:販売対価の総額(A)を売上計上



【新基準】:販売対価の純額 (A-B) を売上計上



## (補足) ITインフラ流通事業の「取扱高」について



### 取扱高

Transaction Volume

- 2021年3月期以前の売上高と 同じ基準で算出 (=会計基準変更前の売上高)
- 取引規模を示す上で重要な指標となるため「取扱高」として継続して活用
- □管理会計における営業評価

取扱高

「収益認識に関する会計基準」

適用による影響額 (2022/3期~)

一部の保守・保証サービス、iKAZUCHI(雷) によるソフトウェア販売など、会計基準上の 「代理人取引」について、販売対価の純額を 売上高に計上

## 売上高

Net Sales

- 2022年3月期以降の売上高
- □財務会計における業績評価

## 2022年3月期 連結経営成績



(百万円)	2021/3	2022/3	増減	前期比	<b>業績予想</b> (4/15修正)	予想比
売上高	1,043,534	763,838	_	_	763,300	+0.1%
営業利益	35,028	24,059	△10,968	△31.3%	23,200	+3.7%
経常利益	35,781	24,554	△11,227	△31.4%	23,600	+4.0%
親会社株主に帰属する <b>当期純利益</b>	25,715	16,988	△8,726	△33.9%	16,200	+4.9%
1株当たり 当期純利益(円) 	267.47	178.14				

	2021/3	2022/3
自己資本当期純利益率(ROE)	22.2%	12.9%
総資産経常利益率(ROA)	10.0%	6.6%
売上高営業利益率	3.4%	3.1%

## 2022年3月期 連結財政状態・キャッシュフロー



(百万円)	2021/3	2022/3	増減	主な増減理由
総資産	383,757	356,203	△27,553	売上債権の減少
純資産	129,322	136,173	+6,851	利益剰余金の増加
自己資本比率	33.4%	38.0%		
1株当たり 純資産(円) 	1,334.35	1,422.20		

(百万円)	2021/3	2022/3
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,428	28,165
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,357	<b>△2,926</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,586	<b>△10,724</b>
現金及び現金同等物期末残高	32,033	46,728

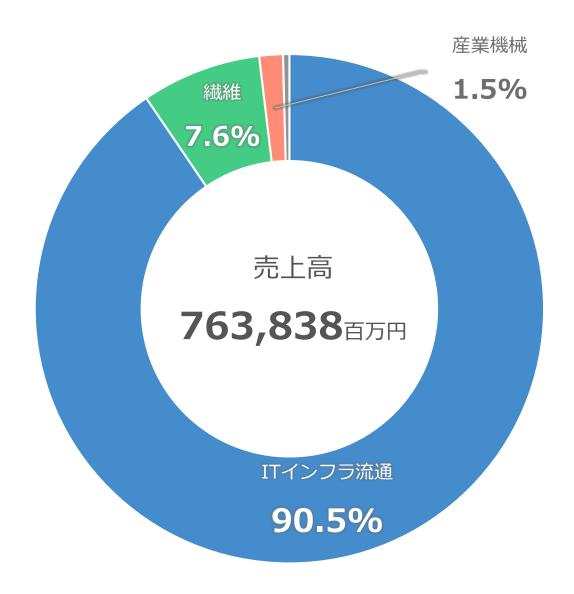
## 2022年3月期 セグメント別業績



(百万円)		2021/3	2022/3	増減	前期比
	ITインフラ流通	969,748	691,281	_	_
	繊維	61,033	58,289	△2,744	△4.5%
売上高	産業機械	11,582	11,610	+27	+0.2%
	その他	1,169	2,657	+1,487	+127.2%
	合計	1,043,534	763,838	_	_
	ITインフラ流通	33,226	21,651	△11,575	△34.8%
	繊維	1,350	1,617	+266	+19.7%
営業利益	産業機械	537	656	+118	+22.0%
古未们址	その他	△87	130	+217	_
	(調整額)	0	4		
	合計	35,028	24,059	△10,968	△31.3%

## セグメント構成割合





#### 売上高構成割合

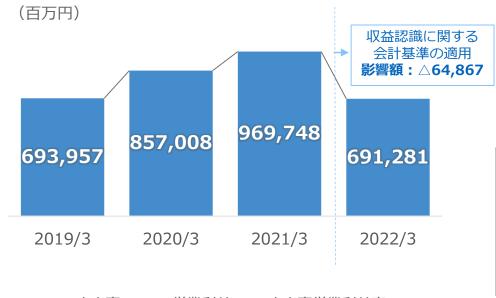
	2021/3	2022/3
ITインフラ流通	92.9%	90.5%
繊維	5.8%	7.6%
産業機械	1.1%	1.5%

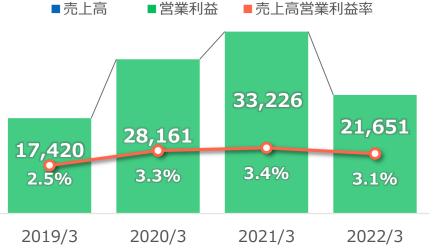
#### 営業利益構成割合

	2021/3	2022/3
ITインフラ流通	94.9%	90.0%
繊維	3.9%	6.7%
産業機械	1.5%	2.7%

### ITインフラ流通事業







<b>取扱高</b> ※旧基準売上高 <b>756,149</b> 百万円 (前期比△ <b>22.0</b> 9
---

売上高 691,281百万円 (前期比△28.7%)

営業利益 21,651百万円 (前期比△34.8%)

PC出荷台数	283.8万台	(前期比△44.7%)
--------	---------	-------------

サーバー出荷台数

サブスクリプション取扱高

iKAZUCHI(雷)取扱高

5.6万台 (前期比△7.6%)

70,800百万円 (前期比+4.1%)

14,708百万円 (前期比+31.8%)

#### 事業概況

#### コーポレート 向け市場

- 企業・官公庁向けは、半導体不足等により一部商品が逼迫 し複合提案が難航するもクラウド環境の構築が進むなど需 要は回復傾向となり、サブスクリプション型サービスや PC・モニタ等の販売が拡大
- 文教市場では前年下期のGIGAスクール構想に伴う全国規 模の端末出荷と比較して減収

#### コンシューマ 向け市場

■ 家電量販店向けにモニタの販売は好調に推移したが、テレ ワーク需要が活性化した前期と比べてPCや周辺機器を中心 に販売が減少

## 繊維事業





**58,289**百万円 (前期比△**4.5**%)

**2 1,617**百万円 (前期比+**19.7**%)

事業概況	
合繊・レーヨン 部門	■ 環境負荷の少ない機能性レーヨンは堅調に推移したものの、マスクや除菌シート向け合繊不織布は前期までの需要反動減に加え、原燃料高騰もあり継続して苦戦
産業資材部門	■電子部品メーカー向けカートリッジフィルターは需要が旺盛であるものの、各種イベント中止、建築工事減少の影響と原燃料高騰等コスト増により利益面で低迷
衣料製品部門	■ 米国向け衣料やアンダーウェアは回復傾向も小売店舗での 購入は継続して減少しており、特に子供向けカジュアル衣 料の不振により減収減益

【ご参考】前期2Qに不適切取引の影響額を反映しております(2020/12/11開示)

	202	2022/3	
	影響額	影響除外時	影響除外時の前期比
売上高	△640百万円	61,673百万円	△5.5%
営業利益	△2,100百万円	3,450百万円	△53.1%

## 産業機械事業



#### (百万円)



事業概況	
工作機械部門	<ul><li>■日本工作機械工業会の4~3月受注総額は前期比68.7%増となる中、移動制限等の継続により主力の航空機・鉄道関連の回復は鈍いが、中国向けが牽引し受注高は前期比59.0%増加となり回復基調</li><li>■資材価格高騰の影響を受けたものの、サービス部門強化によりサービス売上が増加し利益確保に貢献</li></ul>
自動機械部門	<ul><li>■顧客の設備投資に慎重な姿勢は継続しているものの、受注 高は前期比37.7%増加</li><li>■複数台のライン売上や部品交換等のサービス売上の強化に より実績をけん引</li></ul>

## 2022年3月期 連結貸借対照表 (決算短信P5-6)



(百万円)	2021/3	2022/3	増減			2021/3	2022/3	増減
流動資産	331,461	304,134	△27,327	流	動負債	230,519	191,564	△38,954
現金及び預金	32,058	46,963	+14,905	艺	支払手形及び買掛	金 188,483	161,859	△26,623
受取手形、売掛金	246,897	202,408	△44,488		短期借入	金 15,255	12,589	△2,666
商品及び製品	32,580	38,478	+5,898	固定	定負債	23,916	28,465	+4,549
有形固定資産	39,172	38,272	△900		長期借入	金 12,065	14,895	+2,829
無形固定資産	2,696	2,462	△233		負債合計	254,435	220,030	△34,405
投資その他の資産	10,426	11,333	+907		純資産合計	129,322	136,173	+6,851
					自己株	☆ △123	<b>△2,123</b>	△2,000
 資産合計	383,757	356,203	△27,553	1	負債純資産合計	383,757	356,203	△27,553
平野工形 ませる 246,007 > <b>303,400</b> △44,400								
		246,897	→ 202,4					
支払手形及び	·貝掛金	188,483	$\rightarrow$ 161,8	<b>859</b>   △26,623   D		DISの仕入債務	的減少	
借入金合	計	27,321	$\rightarrow$ 27,4	<b>.484</b> + 162				

## 2022年3月期 連結損益計算書 (決算短信P7)



(百万円)	2021/3		2022/3	3	増減	前期比
	実績	率	実績	率		
売上高	1,043,534		763,838		△279,695	△26.8%
売上総利益	81,851	7.8%	64,141	8.4%		
販売費及び一般管理費	46,823	4.5%	40,081	5.2%		
営業利益	35,028	3.4%	24,059	3.1%	△10,968	△31.3%
経常利益	35,781	3.4%	24,554	3.2%	△11,227	△31.4%
特別利益	1,468 **		527			
特別損失	996 ※		163			
親会社株主に帰属する当期純利益	25,715	2.5%	16,988	2.2%	△8,726	△33.9%

特別利益

投資有価証券売却益(414百万円)、固定資産売却益(62百万円)

※前期特別利益

DIS物流センター売却益(**754**百万円)、繊維事業海外工場の移転補償金(**663**百万円)

※前期特別損失

遊休地等の減損損失 (681百万円)

## 2023年3月期 通期業績予想



2022/3 (実績)		2023/3 (予想)		増減	前期比
<sup>金額</sup> 763,838	率	金額 <b>830,000</b>	率	+66,161	+8.7%
691,281 58,289 11,610		754,820 62,060 12,480		+63,538 +3,770 +869	+9.2% +6.5% +7.5%
24,059	3.1%	27,360	3.3%	+3,300	+13.7%
21,651 1,617 656	3.1% 2.8% 5.7%	23,700 2,760 890	3.1% 4.4% 7.1%	+2,048 +1,142 +233	+9.5% +70.7% +35.7%
24,554	3.2%	27,500 18 600	3.3%	+2,945 +1,611	+12.0% +9.5%
	金額 763,838 691,281 58,289 11,610 24,059 21,651 1,617 656	金額 率 763,838 691,281 58,289 11,610 24,059 3.1% 21,651 3.1% 1,617 2.8% 656 5.7% 24,554 3.2%	全額 率 金額 830,000 691,281 754,820 62,060 11,610 12,480 24,059 3.1% 27,360 21,651 3.1% 23,700 656 5.7% 890 24,554 3.2% 27,500	金額       率       金額       率         763,838       830,000       830,000         691,281       754,820       62,060         58,289       62,060       12,480         24,059       3.1%       27,360       3.3%         21,651       3.1%       23,700       3.1%         1,617       2.8%       2,760       4.4%         656       5.7%       890       7.1%         24,554       3.2%       27,500       3.3%	全額 率 金額 率 (63,838 830,000 +66,161 691,281 754,820 +63,538 58,289 62,060 +3,770 11,610 12,480 +869 24,059 3.1% 27,360 3.3% +3,300 21,651 3.1% 23,700 3.1% +2,048 1,617 2.8% 2,760 4.4% +1,142 656 5.7% 890 7.1% +233 24,554 3.2% 27,500 3.3% +2,945

## 中期経営計画と業績予想の差異



#### **営業利益**(百万円)

- ■ITインフラ流通事業
- ■繊維事業
- ■産業機械事業

2023/3 **業績予想** [A] 23,700 2,760 890

2023/3 中期経営計画 [B]

23,700

4,000

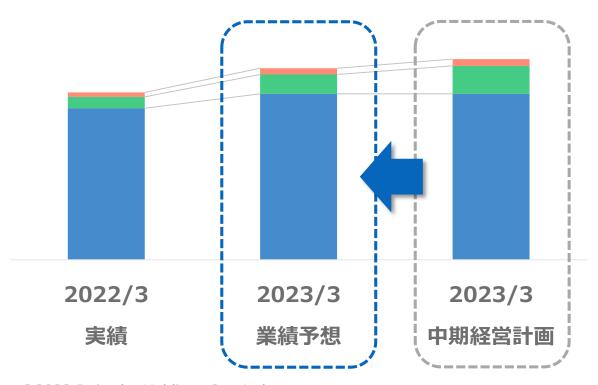
950

[A]/[B]

 $\pm 0.0\%$ 

△31.0%

△6.3%



#### ITインフラ 流通事業

■ 受注済み案件や成長分野への注力により増収を見込むも、半導体不足に伴う提案・調整などの工数増加等を想定し、利益見通しは同水準を維持

#### 繊維事業

■ 原燃料価格の高止まりと需要回復の遅れにより、中期経営計画に対して利益 見通しを引き下げ

#### 産業機械 事業

■ 全体としては売上確保を想定するも、 原材料高騰や自動機械の受注状況を踏まえ、利益見通しをやや引き下げ

## 中期経営計画の進捗状況〈収益指標〉



(百万円)	2021/3	202	2/3	202	2024/3	
	(実績)	(当初計画)	(実績)	(当初計画)	(業績予想)	(計画)
売上高	1,043,534	820,000	763,838	830,000	830,000	875,000
営業利益	35,028	28,500	24,059	28,600	27,360	31,400
営業利益率	3.4%	3.5%	3.1%	3.5%	3.3%	3.6%

→収益認識に関する会計基準を適用

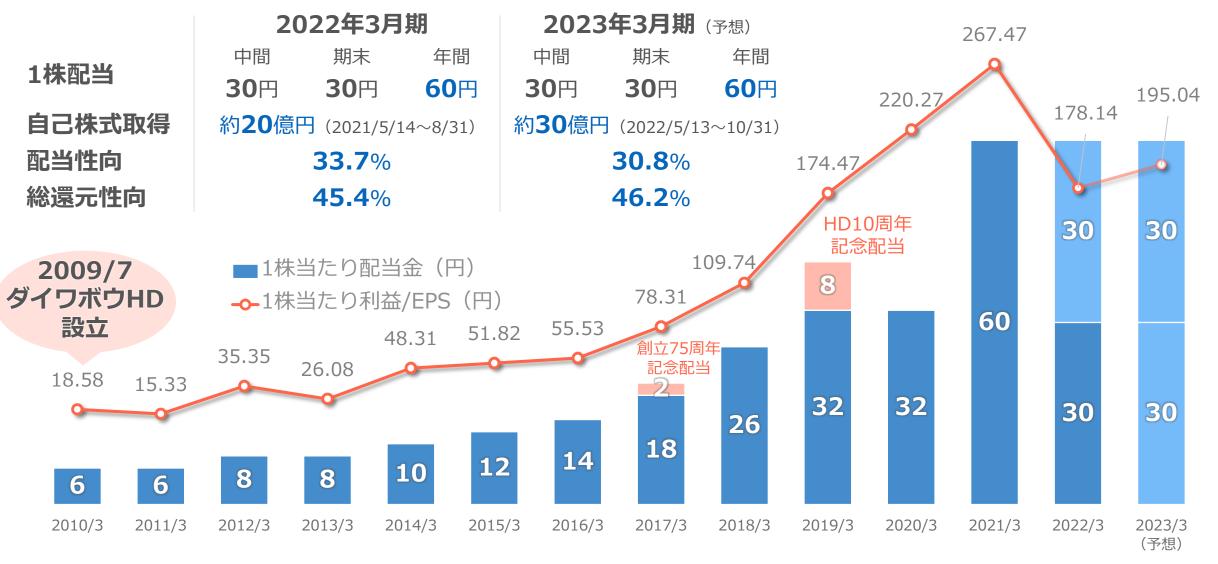
<売上高推移イメージ>

- ■集中的な端末需要に伴う売上高 ※一定条件に基づく概算 (Windows更新・GIGAスクール構想・テレワーク需要等)
- 収益認識基準適用の概算影響額 ※実績に基づく試算



### 株主還元





※株式併合(2017/10/1)・株式分割(2021/4/1)を過年度に遡及して表示

## サステナビリティ







気候関連財務情報開示タスクフォース

- TCFDへの賛同を表明
- TCFDコンソーシアムへの参加



指標

気候変動におけるリスク・機会の影響を特定し、ステークホルダーに適切に開示

機会

グループCO<sub>2</sub>排出総量削減目標 (2022年1月開示)

2013年度比でCO<sub>2</sub>排出の総量<sub>※</sub>を

2030年までに30%削減

※Scope1 · Scope2合計

脱炭素社会の実現に向けた活動推進

ESGデータをサステナビリティサイトに公開

#### 環境

- •CO<sub>2</sub>排出量
- •エネルギー消費量

等

#### 社会

- •女性社員比率
- •有休取得率
- •寄付金額 等

#### ガバナンス

- コンプライアンス 教育受検率
- •役員構成



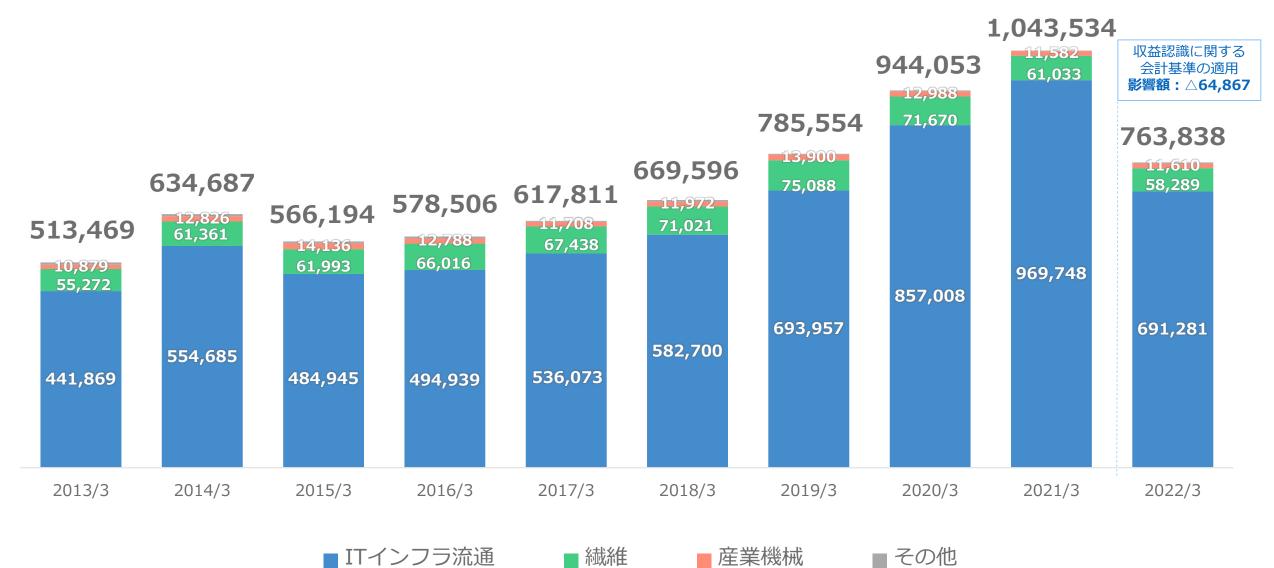
ESG目標の継続的なモニタリング



## 【参考資料】業績推移グラフ

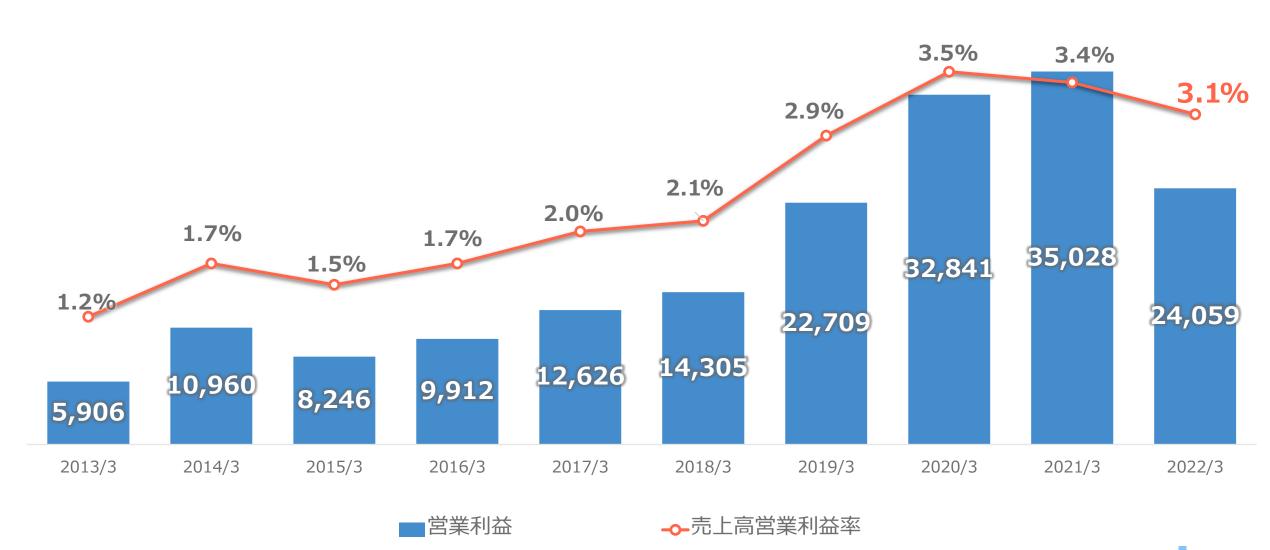
## 連結売上高





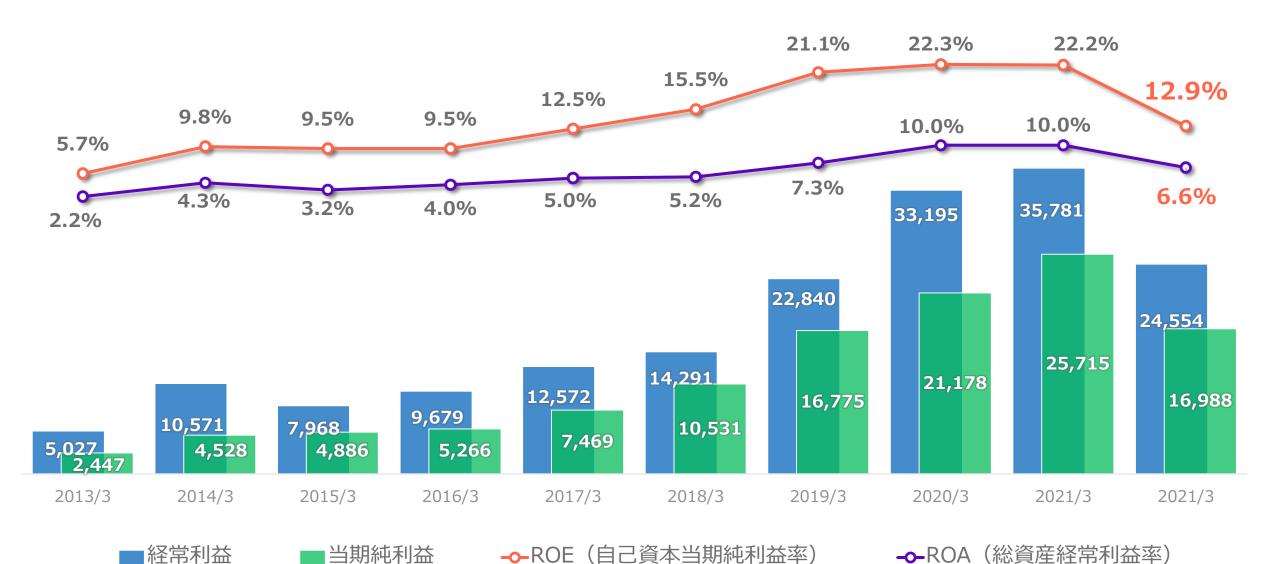
## 連結営業利益





## 連結経常利益・連結当期純利益





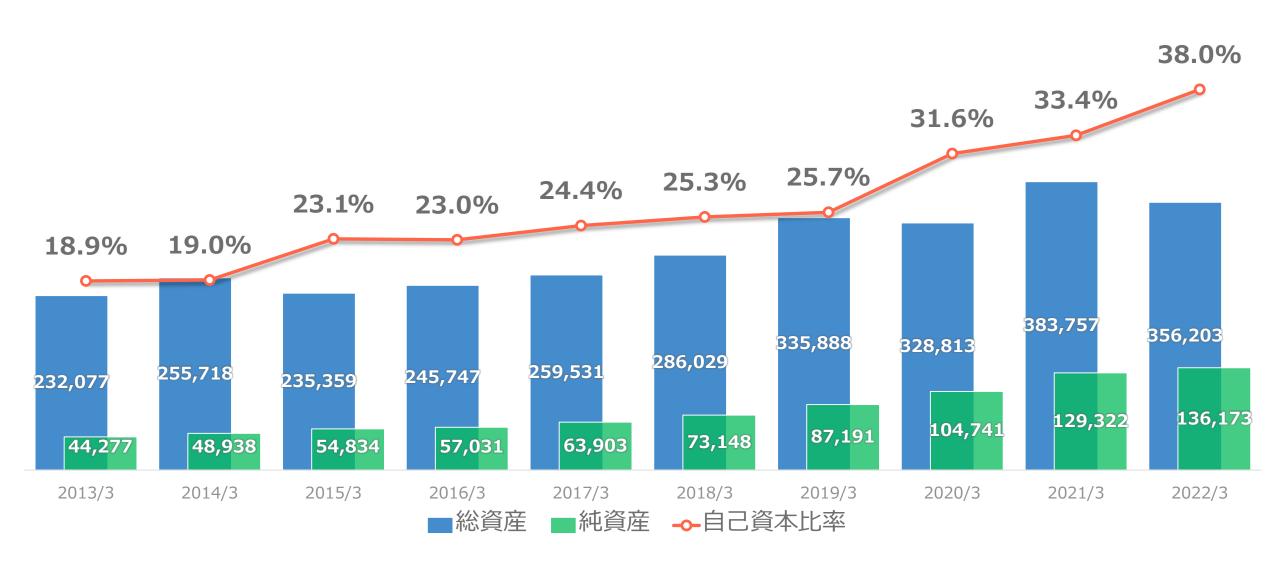
## 四半期別業績





## 連結総資産・連結純資産・自己資本比率

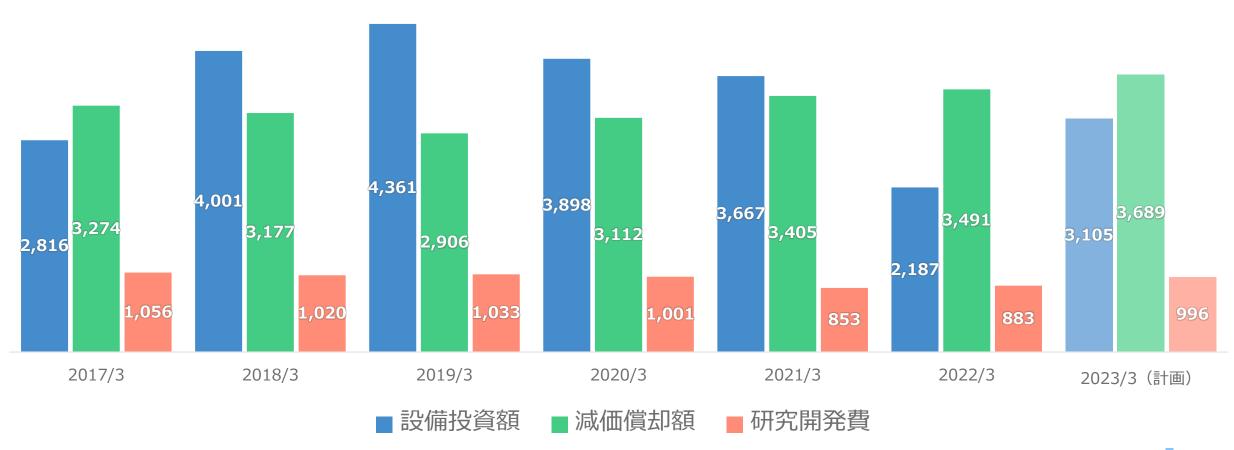




## 設備投資額・減価償却額・研究開発費



(百万円)



https://www.daiwabo-holdings.com/





#### **タイワホ"ウホールディンク"ス**株式会社

#### 【免責事項】

本資料に記載された業績予想値等の将来に関する記述は、現在入手可能な情報をもとに、当社が 現時点で合理的であると判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、その正確性を保証 するものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因により本資料の内容と異なる可能 性のあることをご承知おきください。なお、当社は理由の如何にかかわらず、本資料の利用の結 果生じたいかなる損害についても責任を負うものではありません。

※本資料中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。